

テイラー Teller vol.1

VITA DESIGN 代表 辻 亮一



はじめまして。オーダースーツをご提供するVITA DESIGNの辻と申します。アパレル業界は23年、オーダースーツ屋で起業して8年になります。学生時代にドレスクロージングに魅了され18歳で洋服の道に進みました。18歳で大手アパレルに入社し、働きながら洋服の学を深めていきました。恵まれたことに、20歳で店長、24歳でエリアマネージャーを経験し、マネジメントについても学ぶことができました。そして、オーダースーツ業界40年の師匠に就き仕立てを学ばせていただきました。起業後、博多を拠点にオーダースーツ店を営んでおり、この度、念願の地元久留米に2店舗目をオープンすることになりました！6月6日にグランドオープンいたします。読者の皆さま、ご来店をお待ちしております☆

VITA DESIGNは、“活力が漲る服を創造し、服を通してお客様の人生を豊かにする”ことを理念としています。当店のコンセプトは独自のスタイルをもった遊び心を探求し続ける大人に向けて、クラシックをベースに現代的な解釈を加えたオーセンティックスタイルなスーツをご提案することです。皆さまも自分に合った、自分だけのお気に入りのオリジナルスーツを作ってみませんか？

オーダーサロン VITA DESIGN (ヴィータデザイン)
久留米市東町1-11 トーワイーストビルズ102
【完全予約制】
TEL.0942-65-6990 vita_design_men

オッピのひとりごと



<プロフィール>
OHANAのロゴのO。ピンク色のOなのでオッピ。
好奇心旺盛で情報通の男の子。年齢不詳。

ぼくはオッピ。最近気になることがある。よく見かける「福岡県の子どもに養育里親を745」という看板。かわいらしい赤ちゃんの写りが載っているけど、そもそも里親ってナンダ？わんちゃんやネこちゃんを保護する活動なら知っているけど「子どもに」と書いてある。それに745という謎の数字。これは何やら怪しいニオイがする。好奇心旺盛なぼくはこの謎を解くために看板を出した里親支援機関に話を聞くことにした。

そこでぼくは驚くべきことを知る。ぼくの暮らす福岡県ではいろんな事情で親と暮らせない子どもがたくさんいるらしい。その人数が「745」なんだって。そういう子どもを家庭に迎え入れて一緒に暮らすのが養育里親さんたち。子どもを預かる期間は数日～数週間の短い期間も結構あるらしい。久留米地域には里親家庭がすでに約100世帯ある。でも子どもの数に対して里親家庭はまだ足りていない。今月、実際の里親子の気持ちや、里親さんへのサポートについて動画で知ることができる「OHANAカフェ」が開催されるという情報もゲットした。ぼくに今できる事は何だろう。まずはOHANAカフェに参加して、子どもたちの現状を知ることから始めようと思っている。



福岡県里親支援機関 OHANA

2020年、福岡県より事業を受託。養育里親制度の広報啓発から里親家庭への支援まで一貫して行う久留米地域のフォスティング機関。



熱帯の幼なじみ 三位一体の最強トリオ

【コーヒー×チョコレート×バナナ】

喫茶ざぼん オーナー 為田 直樹



喫茶ざぼんでコーヒーを提供しながら、動画制作やWEBデザインなどのクリエイターとしても活動。コーヒーインストラクターや動画制作の講師も行う。

喫茶ざぼんでは焙煎したてのコーヒーと自家製のチョコレートを提供しています。

そして最近、そこに追加しようと思っているのが「バナナ」。コーヒーとチョコレートは、生産地が赤道付近に固まっっていて、生育環境が酷似しているため、その風味の素地にある共通の土地の「旨味」が両者の相性を高めています。そこにさらに相性が良いのがバナナ。

バナナの葉がチョコレートの原料のカカオ豆やコーヒーの木の直射日光を避けるための日よけにされたり、カカオ豆を発酵させる過程でバナナの葉が使われるなど、切っても切れない関係だからです。

そして意外にも「バナナコーヒー」という、コーヒーにバナナを入れる飲み方というのもあります。クリーミーなバナナの甘さとココ、コーヒーの香ばしさと苦味が◎。チョコレートも入れたら最高の調和をもたらします。

さらに3つとも高い抗酸化作用があったり、それぞれの栄養の吸収をサポートしあったり、食物繊維が豊富だったり、栄養的にも補いあって嬉しい効果が。おいしいし、体にも良い、まさに夢の組み合わせ。熱帯の大地が生んだベストマッチが喫茶ざぼんでいつかメニュー化されるのを楽しみに！

喫茶 ざぼん 久留米市六ツ門町10-3-2F / TEL.050-3550-8864
 cafe.zabon 〇店休日等はInstagramにてご確認ください。

お空のキャンパス①

みんなのサロン SORA
ドリームサポーター 村谷 純子



「子どもが笑顔で生きていける社会」を目指すには、私達おとなの環境がとても大切です。

前職保育士時代の相談でよく耳にしたことが、『やるべきことは山ほどあるのにやりたいことが見つからない…』と。家事育児、仕事の両立と日々の生活に追われ心が疲弊状態の母親達の声は少なくありませんでした。子育ては大人達へのサポートも大切で、おとなの笑顔の数だけ子どもの笑顔もリンクしていると実感していました。

そこで、もっと身近な暮らしの中で、赤ちゃんからおとなまでちょっと繋がり語れる場やチャレンジ出来る場が出来たらと2009年風薫る5月にみんなのサロンSORAが産声を上げました。軸は美容サロンからスタートし、そこから始まる、物語りのカタチも様々で最初のお客様は、乳癌の女性。治療で脱毛し、目にゴミがはいるし、まぶしいとのことのお悩みから、当店でオーダーメイドのウイッグつけると、心機一転。目力は、心を輝かせ、「美は生きる力ですね!」と満面の笑みで言いながら、保育園に迎えに行く姿に私までっこり。

みんなのサロン SORA
久留米市津福本町116-44
TEL.0942-34-9830
 sora.9073

美容、コミュニティ、赤ちゃんギフトなど「子ども・おとなも輝くサロン」。

おじさん構文と その対処に見る世界平和

kakel-connect (カケルコネクト) ディレクター フカイエヒロル



kakel
-connect

kakel_connect
 fukaie_hiroru

TVやネット(笑)でよく話題になる「おじさん構文」！その典型例の1つが「長文」です！これはメールの感覚でチャットツールを利用してしまふことに原因があると思います(´▽`;) 私もSlackなどを使い始めた当初、「お世話になっております～何卒よろしく申し上げます」の長文を書いていた(笑) (もちろん今でも関係性によって書き分けられます)。若者には文化の違いと笑って許してとところどころナシキョウテ

そして我々(笑)も若者のメッセージに怒ってはいけません(笑) チャットツールは「会話するような双方向のコミュニケーションが特徴」と定義されていますφ(..)ノ

文字での対話という点はメールと同じですが、設計思想は全く異なるわけですね。かつてないスピードで変化を続ける現代、数歳差でも隔世の感があります(((; 口`))) チャットネイティブな若者たちを自分の物差しで測るのはナンセンス!!! 理解はできなくとも違いを認める(笑) それは様々な多様性の尊重が叫ばれている今、必要なスタンスそのものではないかな!? それにより殺伐とした世の中が少し平和になるのではないかと思うのデス(笑) ☆

ドレッシングで HAPPYになろう!

vol.1 「ドレッシングの世界」
ちくごちゃんねる 代表 北村 百合子



chikugochannel

東京都出身、福岡在住10年目の38歳、二児の母。食品メーカーの研究開発職を経て、一人でドレッシングを製造・販売中。

初めまして、ちくごちゃんねるの北村と申します。ご縁をいただき、6月からコラムを執筆させていただくことになりました。宜しくお願い致します。

私は「ちくごちゃんねる」という屋号の個人事業主で、ドレッシングをひとりて企画、製造、販売する傍ら、ドレッシングマニアとしてインスタグラムから情報発信をしています。「ちくごちゃんねる」の名前は、筑後地域の魅力を全国、全世界に発信する局(=ちゃんねる)でありたい、という想いからです。

ありがたいことに、「あらゆるジャンルのマニアが登壇し、自身の思いの丈を語る番組」に、ドレッシングマニアの主婦として出演させていただきました(4月30日放送)。これがきっかけ

となり、ドレッシング製造者とのやり取りが増え、みんな頑張っている、私も頑張ろう、とやる気が出てきました。そこにライバル意識は無く、他社品でも美味しいドレッシングは広まって欲しいし、ドレッシング業界がもっと盛り上がりつつ欲しいのです。

とはいえ、私の「ドレッシングの世界」の冒険はまだ始まったばかり。このコラムでは「ドレッシングの世界」に興味を持っていただけるような話題をお届けしていきます。お楽しみに。